

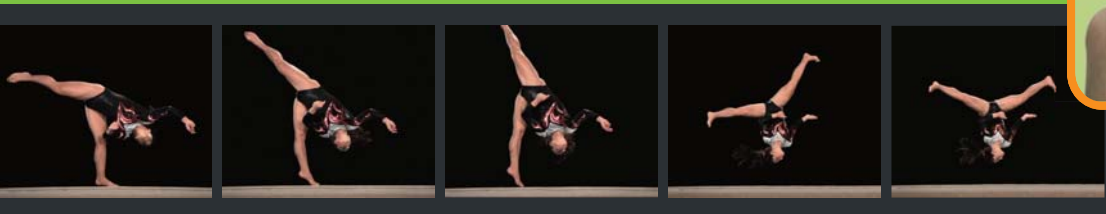
手のひらサイズのハイスピードカメラ

PHANTOM[®] MIRO.eX

ファントム ミロ



原寸大



- 手のひらサイズ・バッテリー内蔵
- タッチパネル液晶で簡単操作
- 最高 11 万コマ / 秒の高速撮影
- 高感度センサーの採用で大掛かりな照明が不要
- 画面の動きを検知し自動撮影 モーショントリガー機能

特 長

デジカメ感覚で手軽に撮影

手のひらサイズの筐体に画像記録用メモリ、タッチパネル液晶モニタ、バッテリー、CFカードスロットを備え、一般的なビデオカメラやデジタルカメラのように初めてハイスピードカメラを使用する方でも簡単に操作が行えます。背面のタッチパネルモニタで感覚的に操作ができ、撮影後、すぐにスロー画像の確認が行え、その場でCFカードへ画像を保存できます。



タッチパネルで簡単操作



CFカードへ保存

最高 11 万コマ / 秒の高速撮影

本体は小型ですが、SVGA (800×600画素) で1,200コマ / 秒、最高で11万コマ / 秒の高速撮影が可能です (Miro eX4)。製造工程の不具合検査から、研究開発、スポーツ分野まで幅広い用途にご使用頂けます。



マイクروسコープによる拡大撮影

微小現象の撮影には、マイクروسコープを取り付けて簡単に拡大撮影が可能です。カメラ本体が小型なので設置が容易で、高感度センサーの採用及びゲインアップ機能によって、高倍率レンズでの撮影や強い照明が行えない場合の撮影にも対応します。



マイクروسコープ装着例

動きを数値化する 解析機能

付属のコントロールソフトウェアで、カメラコントロールはもちろん画像処理、解析、ファイル変換まで行えます。指定点をクリックするだけで撮影画像から距離、速度、加速度、角度、角速度等の数値データを表示でき、CSVファイルでの出力も可能です。



高感度センサーで大掛かりな照明不要

従来のハイスピードカメラは、高速撮影のために多くの光量が必要でした。Miro eXは高感度センサーを採用し、従来のような大掛かりな光源を必要としません。さらに10、12ビット階調によるゲインアップ機能により、室内光のみの撮影でも従来に比べ格段に明るく撮影ができます。



室内光1,000コマ/秒撮影例 (ノーマルゲイン時)

動きを検知して自動撮影 モーショントリガー

外部トリガーによる撮影が行えない場合でも、画面上において何らかの動きを検知すると自動的にカメラが撮影を行うモーショントリガー機能を搭載。検知エリア、検知感度は変更が可能で、様々な撮影対象に対応できます。動きを検知した前の現象を記録したり、検知後の現象を記録したり、トリガー位置の設定も可能です。



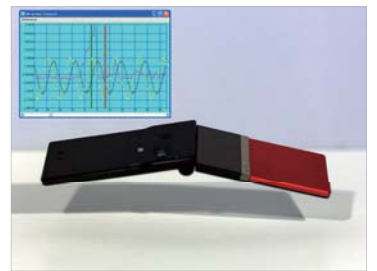
範囲設定



動きを検知して撮影

画像とアナログ波形の同時記録

画像と同期して電圧、圧力、振動などを記録し、同期再生が行えます。カメラコントロールソフトウェアから設定、再生、波形データのCSVファイル出力が行えるので、操作が容易に行えます (波形入力装置はオプション、対応機種: Miro eX4)。



カメラコントロールソフトで設定・プレビューが可能

PCからの遠隔操作、日本語対応

最新のカメラ制御ソフトウェア「PCC」はマルチ言語に対応し、日本語、英語の表示言語選択が可能です。使いやすいGUI設計に加え、日本語対応により、世界最先端のカメラを容易に扱えるようになりました。マルチウィンドウにも対応し、画像の複数表示、同期再生が可能です。

